



▲入田名水祭り・河川プール開き



■目 次

市長の施政方針に 各会派が代表質問	2 ~ 5
市政を問う・一般質問	6 ~ 9
予算特別委員会を終えて	10
5月臨時会・6月定例会 議決結果	11

市長の施政方針に 各会派が代表質問

平成25年第2回定例会は、6月6日から6月26日までの21日間の日程で開かれました。6月13日、5会派の代表者が代表質問を行いましたので、その内容を要約してお知らせします。

なお、原稿は質問議員本人が執筆しています。



仁政クラブ
岩屋 千利



竹田市の財政状況について

問 市の財政調整基金の保有状況と今後の見通しは。

市長 平成24年度末の財調基金は38億円、合併時より20億円増加しました。新たに積み立てた地域振興基金等を加えると基金の総額は約88億円となる。

問 市債残高と償還計画は。

市長 市債残高は186億円で合併時の232億円から約46億円減じた。

問 今後想定される箱物等、大型の財政需要は。

市長 昨年度策定の公共施設整備計画では、新消防庁舎、衛生センター、竹田幼稚園、図書館等が上げられるが、既に中期的な財政収支に盛り込まれた想定内の事業である。

市の直営施設直入荘の取扱いは

問 市の整備計画では平成26、27年度にかけて整備となつているが。

市長 直入荘は存続で決定している。今後の財政状況から考えると基金を活用した計画の前倒しもあり得る。



▲建設が進む消防署新庁舎

畜産の振興について

問 畜産は裾野も広く、重要な産業である。その現状と課題対策は。

畜産振興室長 近時、市場は高値で推移している。これは震災等による肥育素牛の不足が要因、一過性でな

ければの思いもある。後継者不足、高齢化等で飼養戸数等も減少している。補助制度の充実強化や誘致企業の的確な支援等、積極的に取り組む。

森林、林業の再生について

森林、林業の再生について

構造的とも言われる森林、林業不振の打開策及び振興策は。

林業振興室長 平成24年森林經營

計画がスタート、県も作業道の開設、林業機械の活用等により、生産性を高める取組に力を入れている。市の森林整備地域活動支援事業等、ともに連動させ、その実を上げていきたい。市は、本年5月林業振興室を新設した。

主要幹線道直入中央線について

市道直入中央線の未改良区間の整備計画と同計画の前倒しは。

直入支所長 同路線の一部は整備計画に上がっている。今後国の緊急経済対策等の動きも想定される。重要路線であり前倒しも含め検討したい。



▲中九州横断道路『大野竹田道路』豊後大野市朝地町

緑風会 坂梨宏之進



中九州高規格道路について

高規格道路が完成したとき、大分までの移動時間40分という時間を考え、竹田にユータウン構想的なことを提言すると聞いているが、その内容は。

市長 現政権のスピードでいけば、5年の中うちに竹田まで完成すると聞

た。市は、本年5月林業振興室を新設した。

今後の行財政改革について

合併算定替えの終了を見据え、合併後、各支所などにおいて行財政改革を進めるためいろいろな改革の推進をしてきたと思っている。その行財政改革の内容は。

市長 消防職を除く一般職の職員数は合併時から100名ほど削減しているが、これは、支所と本庁の役割を明確にしながら、行財政改革に取り組んできた結果の数字である。

合併以降、現在の竹田市の財政状況は過去最高レベルであるが、交付税への依存度が高いだけに合併算定替えを見据え、引き続き行財政改革に取り組む。

職員数が減少する中につながり地域振興策を考え、地域づくり

く。竹田に家を建て住んでいただき、竹田を拠点とし、大分や豊肥圏に通勤してもらう構想をいまのうちに打出しておかなければ、人も経済も吸い出されるストロー現象に巻き込まれてしまう。

普通交付税の算定方法特例(合併算定替)

年 度	算 定 内 容
平成17年度 ～ 平成27年度	合併算定替(合併前市町ごとに算定した財源不足額)の全額を保障
平成28年度	合併算定替の9割を保障(1割縮減)
平成29年度	合併算定替の7割を保障(3割縮減)
平成30年度	合併算定替の5割を保障(5割縮減)
平成31年度	合併算定替の3割を保障(7割縮減)
平成32年度	合併算定替の1割を保障(9割縮減)
平成33年度	合併算定替の保障がなくなる(一本算定)

※合併算定替の額は、年度ごとに交付される普通交付税の算定内容により変動する。

い。

改革は勇気をもって断行しなければならないが、行政だけではできない。最小の経費で最大の効果を挙げるよう、行政と地域がしつかりスクラムを組んで、これから厳しい社会を乗り切つていかなければならぬ。

その他、「国とのTPP参加による今後の農業政策」について質問した。

新風会

加藤 正義



首藤市政一期4年を振り返って

問 主要な取組をどう検証し、継承・発展させるのか。

市長 岡藩城下町400年祭では、日本初の「歴史・文化・交流パートナーシップ宣言」を大阪府茨木市、兵庫県朝来市・養父市、岩手県平泉町と結び交流が始まり、さらに姉妹都市発展への呼びかけもある。地域間交流は学び合う力、相互発展への力を授けてくれる。また、農村回帰の取組、竹田総合学院構想、温泉療養保健制度、健康直線への取組なども、それぞれ引き続き継続取り組み、発展させていく。

問 本市の将来の推計人口は。また、人口減対策の現状は。

人口減対策について



▲祖峰中跡地に整備された取り付け道路

企画情報課長

10年後は2万4423人、20年後は、1万6695人と

いう推計人口である。農村回帰・竹田総合学院構想などで、3年間で62世帯・122人の移住が実現した。

問 減少を止め、増へ転換する大胆な政策が必要。安価な宅地の提供で移住の情報発信を。人口増目標設定は。

企画情報課長 人口増は、今後重要な課題。民間でできることは民間で取り組んで頂く。現実的に10年後2万5千人台を目指したい。

水資源の活用について

問 祖峰中跡地に操業予定の「祖峰企画・水工場」の具体的計画は。

市長 本年8月に着工し、来年の1月操業開始の予定。当初の雇用は10人。さらに拡大も見込まれている。

7・12豪雨災害の復旧について

問 農地、農業用施設復旧の進捗状況は。また、迅速な復旧工事が行われる環境づくりは。

農林整備課長 件数ベースで、農地

問 祖峰中跡地に操業予定の「祖峰企画・水工場」の具体的計画は。

市長 本年8月に着工し、来年の1月操業開始の予定。当初の雇用は10人。さらに拡大も見込まれている。

7・12豪雨災害の復旧について

問 月末に全てを発注。約8割で田植えができる状況になった。

受注されやすい環境づくりに、災害に限り6月から予定価格の事前公表の実施や、県河川工事など先に契約した業者と随意契約を行うなど努めている。

52・91%、施設は78・9%を発注。6月に全てを発注。約8割で田植えができる状況になった。

受注されやすい環境づくりに、災害に限り6月から予定価格の事前公表の実施や、県河川工事など先に契約した業者と随意契約を行うなど努めている。

清風会

日小田秀之



市長の所信表明を受けて

問 市長が今回所信で新たに提唱した「ユータウン構想とは、どういったものか。

市長 効率的な移住・定住構想の一策として、高規格道路の開通や滝室坂

のトンネル構想の実現をも視野に、市有地を生かす方法で移住者の呼び込みを図れないと考えている。竹田市という自治体が自らユータウン構想を打ち出すことで、インパクトの強さを生かしていきたい。今後2~3年を視野に構想の具体化を図っていきたい。

問 移住者対策の必要性は理解するが、定住者(若者)向けの対策も十分考慮し、両睨みの中で構想の検討をしてもらいたい。また、自ら企画提案する気概を持ち、同時に責任をふまえて、地域活性化策を立案・推進・実践する方策の一つ

として、『活力創造事業（仮称）』の創設を考えてはどうつか。

具体的には、旧小学校区単位に地域住民自ら地域活性化策を企画提案してもらい、その事業実施にあたっては竹田市独自の補助金で支援するというものだ。企画・立案・事業実施については、自己責任は言うまでもなく、支援額は1地区100万円程度はどうか。総額で2000万円程度必要となるが、この事業が実現すれば、きっと地域に根ざした特色ある活性化策が期待できると思うがどうか。

市長 地域に潜んでいる力を浮き彫りにし、これを束ねて活性化にどう繋げていくかは極めて重要な視点である。

市民の自主性、主体性を重んじて、2期目の地域振興のソフト戦略として、これ例整備等ができれば、取組は早ければ早いほど良いと思うし、是非これは新規



の事業として、取組を考えたい。財源は、地域振興基金の活用が理想的だと思う。本提言は、相当に前向きに検討したいと思っている。

その他、「養護老人ホーム南山荘の民営化について」と「中山間地域総合整備事業（南部地区）」について質問した。

新生会 本田 忠



玉来ダムについて

問 進捗状況と玉来ダム対策協議会からの要望は。

建設課長 基本協定が交わされて、転流工、工事用道路の着手に向けての動きを加速したい。玉来ダム対策協議会からの要望を基に方針を提起、協議し、一日でも早い補償協定締結、用地取得、本体工事着工に向け、最大限の努力をしていく。

中九州横断道路について

問 竹田一荻間の今後の予定は。

建設課長 竹田一荻間はすでに調査区間に指定済み。早期に計画段階評価に着手するよう要望を強化する。

市長 竹田ICから滝室坂のトンネルまでの間は、国が計画段階評価を経て検討する。荻を通るルートを検討していただき、できなければ連絡するバイパスの整備を要請していく。

問 早期完成を願う女性の会について。

建設課長 市公共事業促進期成会にも参画し、女性の立場を基本とした団体として、独自に精力的な要望



▲浸透抑制対策工事中の大蘇ダム

大蘇ダムについて

大蘇ダムについて

問 漏水対策など今後の対応は。

農林整備課長 浸透抑制対策の事業費は126億円、工期は7～9年、工法は、斜面部は厚さ10cmのコンクリート吹付工で約25万m²を、池底部には遮水シートと併せて保護層を作る工法で約5万m²の実施等が示された。それに伴い国営大野川上流土地改良事業には約10億円の予算が承認された。

また、計画変更により受益者の同意が必要となり、平成26年度までに国、県、改良区と協議し進めていく。

農林整備課長 5月末現在、農地は554件で52・9%、農業用施設は677件で78・9%、全体では1231件、64・6%となっている。

市政を問う

6月14日・17日、6人の議員が一般質問を行いましたので、その内容を要約してお知らせします。
なお、原稿は質問議員本人が執筆しています。

吉竹 悟



岡藩城下町400年祭の成績と今後の展望について

問 岡藩城下町400年祭の成績と今後の展望について

答 成果として、日本初の「歴史・文化・交流パートナーシップ宣言」を基軸にした大阪府茨木市との交流が挙げられる。すでに議会や民間団体の交流が行われている。また、石川県金沢市の市民団体との秀成公・虎姫交流も始まっている。市民誌の発行を予定している。市内公共



▲400年祭記念誌

施設や病院、金融機関など市民の目に触れる場所に置くことにしている。

問 市民間で研究が進んでいる「キリスト南蛮文化」は、新たな観光資源につながる。南蛮料理の研究、酒造会社との連携等企画が勝ちりんんでいる。これも、一職員の目に見えない地道な活動の賜物である。市

としてどの様に関わっていくのか。

答 400年祭の成績をどのように捉えているか。行事に参加できなかつた市民への周知はどうするのか。

企画情報課長

答 成果として、日本初の「歴史・文化・交流パートナーシップ宣言」を基軸にした大阪府茨木市との交流が挙げられる。すでに議会や民間団体の交流が行われている。また、石川県金沢市の市民団体との秀成公・虎姫交流も始まっている。市民誌の発行を予定している。市内公共

の歴史がある。教育長が一人の職員を指名し、このキリスト南蛮文化をまとめ上げいくと同時に、全国の専門家を呼ぶとか、皆で史跡巡りを行い、英語・ポルトガル語に翻訳しネットで全国に情報発信し、その反応を見てみたい。勉強会はしっかりと続けながら、料理の研究などキリスト南蛮文化のイベントの中に組み入れて二次的・三次的効果を生み出せるような戦略を打っていきたい。行政がリーダーシップをとるので、是非興味のある方々に参加していただきたい。今後とも力を入れていく。

問 全国への情報発信をしていくために、不在となつた東京事務所設置はどうするのか。

市長

答 兵庫県養父市出身で、立命館アジア太平洋大学の非常勤講師の大住先生の事務所の一角を貸していただける話がきた。ここに新たな事務所を設置し、非常勤の事務所長を置く準備をしている。国会に近い赤坂にあるので、行政・議会の陳情や研修等の拠点となる。在京の竹田市応援団との連携強化を図り、誰もが気軽に立ち寄れるみんなの事務所とし

災害復旧工事の取組について

問

災害復旧工事の課題にどのように対処し、スピード感を持って取り組むのか。

建設課長

答 国の査定を受けながら同時に実施設計をし、発注していく等の工夫をしている。復旧のスピードを上げていくため、府内での検討も進めている。

農林整備課長

答 来年の作付までには、全ての圃場を完成させていきたい。

生涯学習課長

答 玉来分館は非常に厳しい国の査定を受けた。今後は災害復旧実施計画書を作成し、地元説明会を開催して復旧を進めていくようにしたい。

問 検証会議について、今後どのように進めていくように考えているのか。

阿部 雅彦



総務課長 検証会議の目的である洪水と災害のメカニズムの検証を果たすため、今月末に400年祭記念誌の発行を予定している。市内公共

す役割は終了したものと考え、今後は災害復旧工事の報告及びその他については市で個別に対応したい。



▲玉来川流域・松本漆迫の被災状況

竹田市教育のまちTOP

(SUN3)運動の取組について

問 これから何を柱に取り組むのか。

教育長 多くの地域のグローバルスタンダードの一つのモデルとなり、「子どもを育てるなら竹田市で」の声を生み、教育のまち竹田に皆が自信と誇りを持てるまちにしたい。

問 教育委員会としてのサポート体制は。

学校教育課長 教育委員会からの縦の筋ではなく、各チームが自ら歩みを進め、進化していく体制へと変化し、教職員自らが楽しみながら子

どもたちの生き生きとした姿を求めていくことにならげていきたい。

竹田地区市街地

活性化の取組について

問 総合まちづくりセンターを中心にして、市民の声をどのように生かし、まとめるのか。

市長 まちづくりセンターの果たす役割は非常に重く大きいので、まちづくりの核となり、より多くの市民の皆さん意見を取り上げながら作業を進めていける手法を用いて取り組んでいきたい。



佐藤 美樹

問 竹田市は、農村回帰政策による若い世代の移住促進や、市立こども診療所の開設に伴う特殊合計出生率増加の実績が市内外から高く評価されている。「子育て一番宣言」にふさわしい環境の構築を求め

る。

現在の学童保育の実施件数と利用者数、学童保育待機児童数、今後の待機児童解消策は。

福祉事務所長 実施箇所は10カ所、269名が利用。待機児童数は南部こじかクラブで6名となっている。待機児童発生要因は、スタッフを増員するにも人手がないこと。施設関係者と協議し、解消に向け努力する。

問 病児を一時預かりする「病児保育所」を当市に導入できないか。

福祉事務所長 病児保育は子育て支援策として整備の重要性を認識している。平成22年策定の「竹田市すこやか行動計画」の中で平成26年度までに病児保育所を実施する計画を掲げ、検討をしてきた。今後は医療機関と実施に向け、連携を図りたい。

問 9月に行われるフェアツーリズム国際大会の開催趣旨と詳細、大会後の展望について。

企画情報課長 フェアツーリズムとは、農家民泊を基本とするが、受け入れ側の負担をなくし、利用者と対等な関係でもつなぐことを指す。この国際大会では、韓国をはじめアジ

問 ふるさと納税の寄付額と用途、推進策について。

企画情報課長 平成20年の制度開始から昨年度末まで108件、744万9500円の寄付があり、昨年の岡藩城下町400年祭で400万円を使用。今後はホームページはもとより、竹田市出身者関連の各種会合で呼び掛け、制度の周知を図る。



▲南部こじかクラブでの学童保育の様子

佐田 啓一



竹田市豪雨災害の復興について

問 復旧工事の進捗状況は。

建設課長 公共土木では、7月末で80%が工事完了、平成25年度中に100%完了する予定。

農林整備課長 農地、施設合わせて78%を発注している。来年の作付けには全てを間に合わせたい。

問 玉来ダムの建設規模・期間は。

建設課長 規模についての計画変更はない。期間については用地取得の進捗状況によって明らかになる。

問 河川の防災計画は。

建設課長 阿藏新橋の撤去、玉来新橋から矢倉川合流地点の間は、堆積土砂の除去、護岸突出部のは正、堤防の嵩上げ及び矢倉川への逆流を緩和するため河道内の岩掘削等を行う。また、滝水川については瀬目地区から平原地区の間、大野川については十川地区、岩本地区での堆積土

砂の除去、河床掘削、堤防の嵩上げが行われる予定。

阿藏地区の住宅政策は。

建設課長 住民の皆様との協議の結果、改良住宅6戸を建設の予定。

問 孤立した地区的今後の対策は。

総務課長 ピーク時には11自治会76世帯187名が孤立。現在、孤立の可能性のある地区をリストアップして道路整備や迂回路、情報網等の対応を検討している。

問 向山田1号線の整備を。

市長 条件が整えば早急に行う。

問 文化会館の復旧方針について。

市長 今まで以下の4つの案を示し



▲復旧が待たれる文化会館

洪水時の魚住調整池放流について

山村 英治



るが貴職の見解を求める。魚住堰を通過できない超過洪水量をどうするかなど検証会を継続する必要があると思うが如何か。被災した地域の方々で、魚住堰の撤去まで踏み込んだ検証を求める動きがあるが、市としてはどうのよに対処するか。

市長 阿藏新橋にかかる流木と堰との影響はないと土木学会九州北部災害調査団の報告にある。撤去申し込みはしてある。さらに検討していく余地があれば市はサポートしていく。

問 平成24年災では、玉来川の氾濫警戒情報が避難判断水位に達し、さらに増水中に魚住貯留池放流が行われたことが、これまでの検証でわかつていい。このことが、平成24年災のひとつの中要因と思われ

てきた。(1)現在地での災害復旧、(2)現在地での移転新築、(3)新規場所への移転新築、(4)取り壊し撤去。

現時点では、阿藏地域の安全性が担保されることを前提に(1)現在地での補強改修(改修費12億3000万円、うち一般財源約1億5000万円)か、(2)新築(建築費約28億円、うち一般財源約3億円)案が一番浮上していると思う。

市民の意見集約の方法として各地区別のアンケート調査と座談会が

その他、(1)災害復旧手続きの簡素化と迅速化、(2)職員の労働安全衛生の確保、(3)防火水槽の増設について質問し、市の考えを質した。

性については、諸般の事情から今年度中に決める必要があると考えている。

**玉来ダム建設計画と
今後の洪水防止効果について**



▲竹田調整池堰(魚住ダム)

問 玉来ダムができる超過洪水が考えられる。ダムに調整機能をもたせる要請はできないか。

市長 ダム事務所は現計画で進め、今回の洪水を護岸工事程度で防げるとの結論に達した。

問 稲葉ダムが完成して、この水系は平成2年より洪水量が少ないが、流域で農地災害が見られる。大野川との合流地点で平成2年災と変わらない水害が発生している。また、ダム建設前にかんがい期の農業用水利権の調整がうまくできたらしく、貯水量を増やす必要性を感じる。

じる。稲葉ダムにも調整機能が必要ではないか。平成2年災、平成24年災の比較を求める。

が、議会は否決し、当初予算は成立している。

今回新しい副市長となり、住宅

地災害の記録がないため、農地については比較ができない。竹田駅前から

豊岡橋での洪水時水位が前に比べて1・3m低下したことが、家屋への浸水等水害発生を抑えるダム建設効果としてあつた。

問 災害義援金の金額、支払時期、方法は。

会計課長 第1回目を益前10班、2回目年内18班、口座振替または市庁舎窓口で行つた。義援金9300万円のうち2000万円は農地被災の復興に充てた。

問 前副市長の住宅は、月に9万7千円で、年額1116万4千円となる。市を契約者とし、支出科目を建物の賃借料として支払つているが、これは前副市長の所得となるのではないか。

財政課長 予算上、家屋の賃貸は賃借料での支払いである。所得となる分の課税については適正に処理されたものと考へる。

税務課長 所得税法上居住者の給与所得となる。

問 前回答弁では「賃借料で支払う」とに問題はないものと思われるが関係法令に照らし、問題がないことを再度確認する」とあつたがどうであつたのか。

総務課長 顧問弁護士と協議の結果、市に規定はなくとも、自治体の判断で行うことにより法令上問題はないとの結論である。

問 前副市長の住宅問題について聞く。先の3月議会では前副市長の住居費としての賃借料の予算に対して、削除の修正動議が出された

問 総務課として所得税法上の税

金支払いはしているのか。



渡辺 克巳

市長 近隣他市においても賃借料で住宅の確保がなされている。

6月定例会



第2回定例会・予算特別委員会が6月19日・26日の両日開催され、付託された一般会計補正予算を慎重審査した結果、全会一致で可決されました。

予算特別委員会を終えて

予算特別委員会 委員長 足達 寛康

平成25年度一般会計補正予算(第1号)については、歳入歳出とともに4億223万円の増額で、211億7513万円となつた。

補正予算の歳出の主な内容は、総務費では、農村商社わかば運営基金1380万円、城下町再生推進事業での公有財産購入費1758万4千円を各々新規計上。民生費では、被災者住宅再建支援事業4510万円を増額、子育て支援事業の放課後児童クラブ整備費3725万5千円を減額計上。労働費では、全額県費負担の緊急雇用創出事業1441万1千円増額。農林水産業費では、次世代を担う園芸事業1811万6千円、畜産総合対策事業1412万9千円、椎茸生産基盤1650万円等を増額計上。商工費では、竹田市観光ツーリズム

協会へ2306万3千円の増額。土木費では、阿藏新橋の撤去6270万円を含む市道改良費1億1649万7千円、市営急傾斜地崩壊対策事業費19万5千円減を含む市道維持費は19万5千円減を含む市道維持費は2711万6千円を減額計上。消防費では、新庁舎関連事業費2835万9千円、消防団ポンプ車、積載車各1台購入費2505万8千円を各々増額。教育費では、図書館建設事業費1360万3千円を新規計上。災害復旧費では、平成24年度分契約残を過年災で、農地分2億9585万4千円、稻荷橋復旧工事費5202万円を各々増額計上。農業用施設分3億4769万5千円を減額計上した。

一方、歳入では、国庫支出金として、社会資本整備交付金6108万4千円等で、8139万8千円の増額。県支出金では、被災者住宅再建支援補助金等で2698万5千円増額。繰入金では、財政調整基金3億2773万2千円、公共施設建設基金4059万5千円増額計上。市債では、9000万円の減額計上した。

* * 議会を傍聴にいらっしゃいませんか *

所定の受付簿に住所・氏名等を記入するだけで、本会議や各委員会を傍聴することができます。どうぞ、お気軽にいでください。

また、ケーブルテレビでも定例会初日の提案理由の説明と、一般質問及び代表質問の中継を行っています。

【平成24年度・25年度の傍聴者数】

本会議名	傍聴者数(延べ人数)
平成24年6月定例会	17人
平成24年8月臨時会	0人
平成24年9月定例会	43人
平成24年10月臨時会	0人
平成24年12月定例会	58人
平成25年3月定例会	38人
平成25年5月臨時会	4人
平成25年6月定例会	58人

議決結果

平成25年 第2回臨時会(平成25年5月23日)

議案の議決結果

議案第65号	竹田市副市長の選任について	同 意
議案第66号	竹田市特別職の常勤職員の給与に関する条例及び竹田市教育委員会教育長の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	可 決

平成25年 第2回定例会(平成25年6月6日~26日)

議案・請願・陳情・意見書案等の議決結果

報告第6号	専決処分事項「平成24年度竹田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)」について	承 認
諮詢第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案の者適任
議案第67号	平成25年度竹田市一般会計補正予算(第1号)について	可 決
議案第68号	平成25年度竹田市立こども診療所特別会計補正予算(第1号)について	可 決
議案第69号	平成25年度竹田市介護保険特別会計補正予算(第1号)について	可 決
議案第70号	平成25年度竹田市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)について	可 決
議案第71号	平成25年度竹田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について	可 決
議案第72号	平成25年度竹田市浄化槽整備推進事業特別会計補正予算(第1号)について	可 決
議案第73号	平成25年度竹田市水道事業会計補正予算(第1号)について	可 決
議案第74号	竹田市監査委員の選任について	同 意
議案第75号 (議案第77号)	竹田市公平委員会委員の選任について	同 意
議案第78号 (議案第79号)	竹田市教育委員会委員の任命について	同 意
議案第80号	竹田市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可 決
議案第81号	竹田市子ども・子育て会議条例の制定について	可 決
議案第82号	竹田市男女共同参画推進委員会設置条例の一部改正について	可 決
請願第1号	地方財政の充実強化と地方自治体の主体性の保証を求める意見書採択についての請願	採 択
請願第2号	義務教育費国庫負担制度2分の1復元に関する意見書の提出を求める請願	採 択
請願第3号	市道「加良登今村線」の拡幅工事についての請願	採 択
請願第4号	「保険でより良い歯科治療の実現を求める」国への意見書提出に関する請願	採 択
陳情第1号	竹田市久住町青柳地区のニンニク加工業者の悪臭に関しての陳情	継続審査
意見書案第1号	地方財政の充実強化と地方自治体の主体性の保証を求める意見書	可 決
意見書案第2号	義務教育費国庫負担制度2分の1復元に関する意見書	可 決
意見書案第3号	「保険でより良い歯科治療の実現を求める」意見書	可 決
議案第83号	平成25年度竹田市一般会計補正予算(第2号)について	可 決
議案第84号	工事請負契約の締結について	可 決

選挙管理委員 及び補充員決定

6月6日の本会議において、竹田市選挙管理委員及び同補充員の選挙が行われ、左記のとおり決定しました。

【選挙管理委員】

当選者 海老納 真則 氏

吉野 真正 氏

木村 信義 氏
穴見 一男 氏

【選挙管理補充員】

当選者 大塚 邦彦 氏
(補充順位1)

後藤 茂則 氏
(補充順位2)

甲斐 大蔵 氏
(補充順位4)

全国市議會議長会10年表彰

去る5月22日に開催された第89回全国市議會議長会定期総会において、市議會議員として10年間にわたり、市政の振興に貢献した功績により、6名の議員が表彰されました。



(上段左から)
加藤 正義 議員 坂梨宏之進 議員 後藤 憲幸 議員
(下段左から)
吉竹 悟 議員 中村 憲史 議員 森 哲秀 議員

暑中御見舞い申し上げます

公職選挙法の趣旨に基づき、暑中見舞いなどの挨拶状を廃止させていただきます。また、本年度初盆を迎えるご親族へのお供物等につきましても失礼させています。新仏のご冥福をお祈りいたします。

竹田市議会

あとがき

今年はひどい足跡く梅雨入りしなった。少しでも雨音が強まるとい、昨年の悪夢が頭をよぎる。今回の定例会でいちばん時間を割いて取り上げられたのは、やはり北部九州豪雨災害からの復旧・復興に関する案件である。復旧作業が急ピッチで進められていくが、これほど時間・人材・費用をかけても元通りにならない程の被害規模であったと改めて恐怖を感じる。日頃から「危機管理」と同時に地域の絆を強め、「自助・共助」を心がけたい。

副編集委員長 佐藤 美樹

市議会ホームページ

本会議の会議録や議会の日程、質問項目、議会のしくみと役割など様々な情報を満載しています。

竹田市議会で検索 [竹田市議会](http://www.city.taketa.oita.jp/gikai/) <http://www.city.taketa.oita.jp/gikai/>